



## 一年間を振り返って

会長 三輪 覚子

会員の皆様、いかがお過ごしですか。

年々、時間が速く過ぎていくように感じられ、この時期なると一年間で様々な経験をした充実感とやり残したことへの反省の気持ちで一杯になる方も多いのではと思いますが、いかがでしょうか。「けやき」でも、今年度は盛り沢山の行事がありましたので、なお一層感慨深いものがあります。

まず一番の大きな行事として、「創立20周年」を記念する講演会と祝賀会がありました。上野一彦先生をお招きして、先輩たちの積み重ねてきた20年間の歴史を振り返りつつ、新旧の会員が一緒になって次へと活動をつなげる機会とすることができました。お忙しい中を駆けつけてくださったご来賓の皆様にも、改めてお礼申し上げます。もちろん、半年以上も前から協議を重ね、記念誌の発行・当日の準備と運営に至るまで、すべての事が役員みんなの活躍と協力のおかげで成功したと思っています。

次に年間を通しての例会では、教育部会と就労部会がそれぞれの講座毎に主になって動いてくれたおかげで、外部一般の方の参加も多く、まさに旬のテーマで実施できたと思っています。

自主グループでは、ポーレポーレは夏の宿泊を本人たちとボランティアさんだけ（親ぬき）で行くという快挙を成し遂げ、例会後の懇親会に活躍くださるおやじの会の存在も貴重で、八王子グループも少人数ながら自主的に勉強会を開催し、キャリア教育Wingは、おそらく「けやき」としては初めてだと思いますが、日本財団・麒麟福祉財団からの助成金をいただいて活動を展開しています。



この様に、会員一人一人の努力によって着実に活動の幅が広がっているのを感じます。参加すれば必ず得るものがあるということを実感した一年でした。本当にありがとうございました。

# 日本LD学会 報告

時：平成20年11月22日(土)～24日(月) 所：広島大学

日本LD学会第17回大会が11月22日～24日まで広島大学東広島キャンパスで行なわれました。

全国LD親の会企画シンポジウムは『教材・教具を特別支援教育で活用していくために』～発達障害児に対する指導法の確立に向けて～というテーマで発表されました。

また、親の会のポスター展示では、「けやき」も発表し、にんじん村の展示として、東京LD「自立生活サポートチェック表」の発表をさせていただきました。チェック表の販売もあったという間だったそうで、自立に向けての関心も高まっていると感じました。(にんじん村さんに感謝です！)



ポスター展示コーナーにて

日本1広い国立大学ということでしたが、東広島のホテルや駅からの休日のバスはなく、少々不便でした。でも、そのことを忘れるほどの多彩なシンポジウム、またポスター発表とたくさん勉強をさせていただき、次回もぜひ参加したいと思います。

## 『お知らせ』

- \* 次回LD学会は、東京学芸大学です。
- \* 論文集をご覧になりたい方は、新堀(和)まで。

大会2日目は親の会の懇親会で、会場は明日葉の会員の方々が用意してくださり、食べ物もおいしく楽しい交流のひと時を過ごすことができました。また、この大会ではWingのボランティアの寺田さんが広島大学で参加されているカフェを出店していました。頂いたお茶は子どもたちの心のこもったもので、礼儀正しい態度に感激しました。



学会会場 入口にて

## 日本発達障害ネットワーク（JDDネット）

### 地域ミーティングに参加して

時：12月13日(土)・14(日) 所：目白大学・新宿キャンパス

JDDネット理事・中京大学教授 辻井正次氏の「発達障害の支援と現状のあるべき姿」と題した講演は、まさに親の会の私たちが熱い関心を寄せている、障害者自立支援法の見直しによって、発達障害が障害福祉サービスにどのように位置づけられるかについてでした。私は午後からの参加で聞けなかったので、辻井氏の講演資料を抜粋して次に記します。

『現在、障害者自立支援法において、発達障害を位置づけることが課題となっている。3障害（身体・知的・精神）の枠組みの中で位置づけることが、この段階での速やかな位置づけの方略であり、知的障害があれば知的障害の、知的障害が無ければ精神障害のサービス体系の中でのサービスを公認させていくことが必要となる。今後さらに発達障害独自のものとして何かを提案していくのかどうか、さらに検討していく必要があるが、まずは既存のサービス体系に参加することが、その次の特性に合ったサービスを要求していくことの基盤となる。まずはシステムに参加し数年がかりで現実的な要望を積み重ねていくことが必要である。そもそも、知的障害者福祉法において知的障害者の定義が明確でないなど、問題が大きく、新しい枠組み作りへの提案をしていくことも必要でしょう。発達障害者支援法が理念法であるために、地域の都道府県や市町村の取り組む意欲によって、実態は異なっている。当事者や家族の働きかけの中でできてきたこと、できてこなかったことを比較し、検討していくことが必要だと思われます。』

自立支援法の見直しの発表は3月中旬以降になるそうです。どのように発達障害が位置づけられるのか注目です。

また、午後の地域ミーティングでは地域の中でどのような取り組みをしてきたか、司会者が会場の参加者から意見を募りましたが、会場から出たのは現状の問題点についての意見が大半で、前向きな取り組み例は聞かれず残念でした。ところで、港区のディスレクシア（読み書き障害）の会『NPOエッジ』は数年前から区と協働で学習指導員の養成や相談室、教育支援などの活動を行ってとても素晴らしいです。同じようにはとてもできませんが、学校で個々の教育ニーズに応じるため奮闘している教員の手伝いを地域ぐるみで行うとか、自分の職場に障害をもつ人が就労できないか考えていく、そのような、ごく身近な取り組みが求められていると思います。何ならできるか考えています。

鈴木弥生



## 11月例会報告

LD親の会「けやき」および自主グループキャリア教育講座「Wing」共同開催

テーマ「発達障害者の未来を考える」～就労・生活を語り合う集い～

日時 平成20年11月30日(日) 場所 国分寺市Lホール

### ■ 11月例会に参加して■

現在高校二年生の娘を持つ母です。今年「けやき」に入会し就労部会にも参加させていただき、娘の就労に向け障害者雇用の現状把握や情報収集をはじめたところです。

今回の講演会は、現在まで支援機関を利用したことのない私には、素晴らしい講師の方々の有難みも分からず、申し訳ないほどでしたが、様々な支援機関があること、そして色々なサポートを受けられることが分かり、大変心強くまた参考になりました。

さっそく後日居住地の役所へ電話し、冬休み中に手帳申請ができるよう日時のお約束をしました。支援機関の方は、市内に作業所はありますが就労移行形ではないとの事でした。また隣の市にある生活支援センターで相談ができるようなので、そちらも相談のお約束をしたところです。担当の方は、障害者職業センターや職リハは通うには遠いという事と、職リハに入所する場合は寮に入れますというお話で、知的では寮に入れない事をご存知ないのが現実でした。支援体制の地域差は感じてしまいましたが、やっと就労に向けて最初の一步を踏み出すことができそうです。

安定した職に就く事が難しい時代に、障害を抱えた娘にとって就労の問題は決して易しいものではありませんが、色々な支援機関を利用しサポートを受けながら、本人が納得し、また少しでも良いかたちで社会へ出て行けたらと思っています。 R. Y (埼玉県在住)

### ■ 11月例会に参加して■

「発達障害者の未来を考える」というテーマで東京障害者職業センターの岡野所長をはじめ、それぞれの支援機関で活躍している方々を招いて、各機関の取り組みや支援などについての講演会に参加させていただきました。

私の息子は、現在高校三年生です。そして、卒業後は今のところ就労を考えております。しかし、いざという時にはどのような支援機関に行ってどうしたらよいのかよく分からないでいました。その為、今回は各機関ごとに説明していただき大変参考になりました。また、大東コーポレートサービス(株)の山崎社長が本人の「働きたい」という気持ちが、とても大事だとおっしゃっていました。正にその通りだと思いました。はたして息子はどこまで思っているのでしょうか?不安を感じます。おそらく、これから就労に向けていろいろつまづく事もあるかと思えます。でも、そのような時には、今回のお話の中で聞いたことを頭においてやっていきたいと思えます。そして、親子ともどもあせる事なくゆっくり前向きに取り組んでいきたいと思えます。 H. T



松為教授・講師の方々

## 参加者の感想（11月例会アンケートより抜粋）

◇就労をテーマに講師の方々から意見をお聞かせいただき、視点の違い、支援内容、サポートの枠等が述べられたところが良かった。ここに、地域での支援、生活支援を含めると就労の場の基になる部分で就労前、就労後にも受けられる支援のポイントが提示されたのかもしれない。事例1で作業所での実習を利用されたと示されましたが、転職時のつながり等もあると良かった。

◇いつもながら内容が濃く大変参考になりました。本人は大学で日々勉強に励んでいるようですが、アルバイトの経験も未だないので働くことに不安があるようです。これを機会に一步踏み出して、支援機関の力を借りて将来の自立へ向けて準備を整えていきたいと思います。

◇現在の労働支援状況の新しい情報を得ることができ、参考になりました。就労を希望しながら、なかなか適合した職につけない発達障害者には、サポートが増えてきたのだなと感じました。私の子どもは24歳で、事例2の方と大差のない状況にいますので、今日の講師の方々の支援を求められる状況になって欲しいと思っています。その前の段階の支援が、まだ今の社会にはほとんどないのでしょうか。

◇いろいろと話を聞くことは参考になるのですが、本人の意欲（やる気）を持たせることが難しい。一度就労の経験をさせたいと思っているのですが、引きこもり傾向があり、障害を受け入れたくない息子への対応をつかみきれないでいます。

◇各支援機関の方々の貴重なお話を聞くことができ、大変参考になりました。講師がたくさんいらしたので仕方がないとは存じますが、お一人お一人の話が駆け足過ぎてメモを取るのが大変でした。どの話もすばらしかっただけに、もう少しじっくり聞きたかったです。その点後半はとても良かったです。

◇大東コーポレートサービスの活動は素晴らしい。山崎社長の考え方も立派です。こういう会社をもっと増えることを期待したい。支援機関が複雑で非常に分かり難い。重複していることが多いのではないかと思います。当事者では解決できないかもしれないが、要検討事項と思う。（就労支援機関関係者）

◇事例に対しての、各機関の方々の意見交換はとても新鮮でした。事例によっては、精神科ドクターやPSW等も参加していると、より良い意見交換ができたのではないかと感じた。15分の持ち時間でのプレゼンは、無理があったように思う。あまりにも駆け足だったため、内容がぼやけたように感じた。（特例子会社勤務）



## 1月例会・講演会に参加して

日時 平成21年1月31日(土)  
会場 多摩障害者スポーツセンター(第一集会室)  
講師 山中ともえ氏(都教育庁指導部義務教育特別支援教育指導課  
統括指導主事)

テーマ 「LD発達障害児・者の進路について考える」

多摩障害者スポーツセンターにて1月例会、LD等発達障害児・者の進路についての講演会に参加しました。中学生の子供の母として今一番考えなくてはいけない部分の内容であり、進路の実際をコンパクトでありながらいろいろな観点からご説明していただき大変有用でありました。

講師の山中ともえ主事は、長年特別支援教育の現場に立たれた経験をお持ちで、その後教育庁の相談業務等を歴任されています。この数年の「特別支援教育」の流れの実際も含め「都立高校」を主体として進路のありようについて講演されました。2007年度の実施以降、小中学校での「特別支援教育」は「普通級」「通級」「特別支援学級」さまざまな場で「本人に寄り添う形」で実行されつつあります。そうした支援を受けた児童・生徒が、これから「高校」へどのように道をつなぐかを、学校も本人たちも手探りながらようやく手をつけはじめられた感じがします。小学校高学年にはじまり、難しい中学生時代の思春期をどのように自分と向き合い、自己理解をすすめるのか。またそうした「自分理解」ののち「自分ならではのキャリア」を重ねるためには「どのような学校」があるのか。最近、設立された「エンカレッジ」「チャレンジ」高校、「軽度知的障害のため」の特別支援学校などについて、また、都立高校入試における「措置」についてなど、これから高校進学を考える親にとっては「実際」を知るよい機会になりました。講演後の質疑応答に関しても、可能な限りの誠実な対応に「支援者」としての山中氏の姿に改めて感謝した次第です。

私自身は居住自治体が異なるのですが、東京都の実際を知り学んだことは自分の子どもたちへの学校での支援にも今までにも反映されることが度々ありました。今回の講演会でも「親」「教師」「本人」が共同体となって「明るい進路形成」のために今後も頑張っていきたいと改めて思わせてもらえた気がします。

伊原文恵



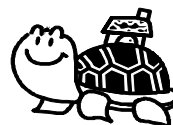
## 参加者の感想（1月例会アンケートより抜粋）

◇いろいろな取り組みが始まっていることがわかり、今後さらに発展することを願います。反面、都としての話でしたが、地域の教育委員会による取り組みの温度差や、校長により違っている現実もあり、その点も早急に対応していただきたい。質問の回答を含め、幅広く説明を頂き非常に参考になりました。

◇講師の先生のお話は、今まで気になっていたところでしたので、興味深く聞かせていただきました。いろいろな進路があるものだなと、あらためてその多様さに驚いたのですが、やはり具体例などを聞かないと今ひとつピンときませんでした。いろいろな進路パターンの実例の紹介や、本人（保護者の方でもよいのですが）から話を聞く機会があると、もっと身近に感じられるかなと思いました。

◇進学は重要な課題であり、親として大変悩みます。今日のお話で、いろいろな選択肢があることがわかりました。希望を持って子どもと進路について考えていきたいと思えます。

◇春から公立中学校へ入学予定のため、先の見通しを持ちたいと思ってきました。どんどん変わっていく学校や制度がよく分からないので、体系的なお話が分かりやすかったです。



◇都の指導機関としての活動内容等、理解できました。現場の教育状況とのギャップを感じる部分も多くありますが、親の会等の活動がそうした部分をフォローしていくべきなのかと考えております。

◇都の取り組みや計画について、よく分かりました。この2・3年で学校の先生が理解して下さったと聞いて、今後の学校生活には明るい展望が持てたことが嬉しいです。テストモデル校だけでなく、早く各地域での支援の取り組みが実現できることを待ち望んでおります。

◇小中学校の若い世代の親御さんの姿に10年前の自分たちを久しぶりに思い出し、時の流れの速さに驚き、子どもたちに対する社会の変化にも驚いています。今の小中学生が20代になる頃には、どんな就労支援が進んだ社会になっているのか見てみたいです。

◇発達障害児の学習指導をしている者です。担当する生徒さんの中学・高校への進学を考える保護者からの相談に応えられるようにと思い、参加させていただきました。山中先生の話も参考になり、さらに個人的に調べていく意欲を持つことができました。また、保護者の方からの質問を聞くことで、様々な不安を抱えていらっしやるのが分かりました。今日の経験を生かして、さらに生徒や生徒の保護者さんに安心していただける活動をしていこうと思いました。（教育関係者）

# 就労部会

平成 20 年度 活動報告

今度の就労部会は、就職後のお子さんをお持ちの方は就労継続・自立の情報交換。就職後を目指す方は企業の考え方や就職までの準備などを、月1回の集まりで勉強をしています。今年度は以下の目的を立てて活動を行ないました。

1)・地域支援の情報収集

市区町村のサービスを会員がそれぞれ持ち寄り、話し合う。

2)・自立サポートチェック表をもとに話し合い

東京 LD が発行した冊子の読み合わせにより、自立に向かう具体的な方向性を見出していく。

3)・専門家による勉強会

10月18日、東京経営者協会 障害者雇用アドバイザー、畠山千蔭氏をお迎えして、「社会に出す側として考えたいこと」～企業側の現状と課題～についてお話を伺いました。障害者の雇用について多岐にわたるお話をいただき、企業の最前線を経験された方のお話は、迫力がありました。会員以外の方の参加も多く、盛況に終えることが出来ました。

4)・離職・就労継続に関する情報交換

会員同士、また新しい会員の悩みを共有することで、お互いの勉強が出来ました。



その他

○Wing とともに、企業見学（大東コーポレーション）に参加。

○社会人講座を受講した先輩が Wing の7回講座の「学生と社会人の違い・好きな事と仕事の違い」というテーマで体験談をお話しました。

<今後の予定>

実施日	時間	内容	場所
3月24日(火)	11:30～	食事会	国立・藍屋
4月25日(土)	10:30～13:00	相談会	多摩スポーツセンター 第1集会室
5月26日(火)	10:30～13:00	情報交換(ツール)	未定
6月23日(火)	10:30～13:00	相談会	未定

<来年度の活動について>

- ①相談会は、年2回の専門家による相談・会員同士で悩みについて話し合う
- ②けやき全体に対して就職についての体験公開
- ③自立のための情報交換・生活ツールの開発（基本的に火曜日の午前中に集まる）

就労部会代表：新堀



## 教育部会

平成 20 年度 活動報告



**\*4月12日(土) 参加者4人 多摩障害者スポーツセンター**

「2008年度の体制と活動計画案作成」

- ・代表：浅井 会計：小杉とする。
- ・今年度前半は、サポートノート（案）を作り、後半は2007年度にまとめたアンケートをもとに情報交換をするとの計画をまとめた。

**\*6月14日(土) 参加者6名 多摩障害者スポーツセンター**

「サポートノート（案）作り」

- ・必要などきに必要の情報を取り出せるように、シートやファイルを作成するにあたり、その中に入れる項目（成育歴、学校の記録、苦手・得意なこと、コミュニケーション面での特性等）について話し合った。

**\*7月12日(土) 参加者3人 多摩障害者スポーツセンター**

「主に学校（進学）のことについて情報交換」

- ・学校との上手な付き合い方、発達障害の子を受け入れてくれる学校について情報交換し、サポートノートの原案を検討した。

**\*10月11日(土) 参加者7名 多摩障害者スポーツセンター**

「学校、生活、その他に関して情報交換」

- ・様々なトラブルや困っていること悩み等に対して、いろいろな対処方法（経験）を出し合い、解決に向けての“答えの選択肢”を増やしていった。

**\*12月14日(土) 参加者5名 藍屋（国立富士見台店）**

「食事会」

- ・1月例会における講演会への要望、3月までの活動について話し合った。また、食事をしながら学校や生活のこと等、様々なことを話し合った。

**<4月25日(土) 11:00～ 多摩障害者スポーツセンター>**

- ・新年度への取り組みなどを話し合います。

今年度は、「実際に顔を合わせて話をする」というところに重点をおいて、活動してまいりました。各回少人数ではありましたが、そのぶん新会員の方を中心にじっくりと話を伺うことができ、様々な情報を交換することができました。当事者同士で顔を合わせて、悩みや困り感に対していろいろな対処方法（経験）を出し合い、解決の糸口を探っていくというのは、まさに親の会の原点ではないかと思えます。これからも一人一人を大切に、来てよかったと思える活動が続いていくことを願っております。

教育部会代表：浅井

## ■自主グループ報告■

# ポーレポーレ

平成 20 年度 活動報告

今年度は 14 人が登録して、月 1 回主に第 2 日曜日に多摩障害者巢スポーツセンター等を利用して活動しました。

- 4 月 12 日 調理実習（やきそば作り）
- 5 月 11 日 葛西臨海公園散策（水族館等を見学）
- 6 月 29 日 野球観戦（西武球場で西武対ロッテ戦）
- 7 月 13 日 スポーツ大会

（スポーツセンター体育館で野球・バドミントン・卓球等）

- 8 月 16 日～17 日 夏の鎌倉・宿泊の旅  
大仏、銭洗い弁財天、鶴岡八幡宮等見学 夕食・朝食はバイキング
- 9 月 28 日 谷保天満宮までの散策 近況報告
- 10 月 12 日 12 月のボーリング・カラオケの予約を兼ねて立川駅まで散策・昼食
- 11 月 2 日 メンバーの通う大学の学園祭を見学（美術展、屋台等）
- 12 月 21 日 ボーリングとカラオケ
- 1 月 18 日 近況報告とゲーム（漢字、カードゲーム等）
- 2 月 8 日 谷保天満宮までの散策
- 3 月 20 日 進級祝いを兼ねて食事会

今年度が今までと違うのは、メンバーの中から活動日ごとにリーダーを決めて、リーダーが企画したり事前に下調べをしながら活動していったことです。

夏の宿泊も、今回初めて親は参加せずにメンバーとボランティアさんだけで出かけました。本人たちの成長や努力もありますが、やはりボランティアの皆さんの助言、協力なくしてはこういったことは無理だったと思います。

子どもたちの成長とともに「ポーレポーレ」の親の関わり方も少しずつ変化してきています。親の立場からの「ポーレポーレ」をどのように支えていったらいいのか考えさせられた 1 年でした。

(A)



## ■自主グループ報告■

### けやき八王子

平成20年度 活動報告

- 4月 年間活動計画作成
- 5月 打ち合わせ（保護者向け勉強会講師検討）
- 6月 打ち合わせ（夏休み勉強会計画・勉強会講師依頼）
- 7月 『夏休みの宿題をやっつけよう』子供達の自習会
- 8月 『夏休みの宿題をやっつけよう』子供達の自習会
- 9月 勉強会案内作成・配布
- 10月 勉強会『学校と家庭の寄り添い方』  
講師 明星大学教授・星山麻木先生  
『たすく見学』 齋藤宇開さんとの交流
- 11月 八王子市市民企画事業補助金交付申請
- 1月 来年度の活動計画検討
- 2月 来年度開催予定のワークショップ講師との打ち合わせ予定
- 3月 平成21年度活動計画作成予定



八王子グループスタートの今年度は、無理のない活動をしながら、今後の充実した活動へ向けての下地作りの一年となりました。

夏休みの子供達の自習会では、子供同士が交流しながら集中して宿題に取り組むことができました。来年度も継続していきたいと思います。

勉強会は、『学校と家庭の寄り添い方』というテーマで、星山麻木先生にお話していただきました。学校との連携について保護者同士交流もでき、有意義な勉強会になりました。

来年度は、アートワークショップと講演会を計画しています。また、専門職の方を招いての座談会・学校や療育機関の見学・特別支援に関心のある地元大学生との交流会も計画したいと考えています。

八王子グループ：尾形

### おやじの会

平成20年度 活動報告

お父さんの子育てへの取組等を考える自主グループですが、今年度もこれまでと同様、主として例会後の懇親会等を通して会員相互の懇親を深める活動を行ってきました。その他としては、親の会「くじら」のおやじの会の皆さんと昨年度来、機会ある毎に懇親・連携を深め例会など相互参加などを行っています。また、名前はおやじの会ですがお母さん方も含めた活動への展開も模索中です。

藤本

## ■自主グループ報告■

# キャリア教育講座 Wing

平成20年度 活動報告

平成20年度に始まった自主グループ『キャリア教育講座 Wing』は日本財団、麒麟財団の助成金と講座参加費によって、全12回の講座と親の勉強会を実施しました。現在の登録者は親子39名、大学教授、ボランティア8名です。

目的

- ①発達障害の児童生徒が、自己理解を深めると共に、それを踏まえた生き方、特に働くことを含めた人生設計—について具体的に考える機会を提供する。
- ②発達障害の児童生徒を持つ親が、同講座を併行して受講することを通して、障害の理解とそれを持つ児童生徒の健全な育成に向けた親のあり方について学ぶ機会を提供する。
- ③発達障害の児童生徒に焦点を当てたキャリア教育・進路指導のための社会人講座プログラムを確立して、その普及を図る。

<活動報告>

回数 月	内容	講師
1回(5月)	オリエンテーション	神奈川県立保健福祉大学 松為信雄教授
2回(5月)	調理(焼きそば作り)体験	親。ボランティア
3回(6月)	よりよく生きるために学び	神奈川県立保健福祉大学 松為信雄教授 明治学院大学 臨床心理士 田所摂寿氏
4回(7月)	東京障害者職業センター訪問 職業興味検査 親子で模擬的作業体験	東京障害者職業センター 岡野所長・有澤次長 カウンセラー 5名
5回(8月) 合宿 伊豆高原	事業所見学 (自動車部品会社研進) 専門家による講座 親と専門家・企業と話し合い	神奈川県立保健福祉大学 松為信雄教授 (株)研進 出縄貴史社長 (株)キューピーあい 湯田正樹社長 都立南大沢学園特別支援学校 市村たづ子先生
(8月) 合宿 伊豆高原	働くことに関する 基礎的なスキル体験 礼状作成・企業見学の心得	神奈川県立保健福祉大学 松為信雄教授 都立南大沢学園特別支援学校 市村たづ子先生

<キャリア教育講座Wing・活動報告>

6回(9月)	作業を入れた コミュニケーション 『PATH』	「たすく」代表 齋藤宇開氏
7回 (10月)	学生と社会人の違い 好きな事と仕事の違い 就労している先輩の体験談	神奈川県立保健福祉大学 松為信雄教授 (社会人講座の先輩) 室井祐美氏・新堀隼氏
8回 (11月)	職場のマナー 名刺交換などロールプレイング	キューピーあい 湯田正樹社長・蛭田氏 ケイ・システム(株) 横小路氏
9回 (12月)	ハローワーク訪問	ハローワーク渋谷 加藤氏・佐久間氏
10回 (1月)	自立生活 生活・会社の マナー・ロールプレイング	都障害者福祉センター地域支援課 山本良典氏
11回 (2月)	講座のまとめ 1年間の感想作成	親・ボランティア
12回 (3月)	まとめ発表・修了式 修了証書の授与・感想発表	神奈川県立保健福祉大学 松為信雄教授 キューピーあい 湯田正樹社長 他



たくさんの方々の支援を頂きながら1年間を無事に過ごすことができました。今年も、日本財団、キリン福祉財団の助成金を頂き、プログラム作成も進みました。来年度は企業の体験やプログラム発表をしながら、さらに充実した活動につなげたいと思います。

Wing代表 新堀和子

## お知らせコーナー

### 3月役員会を行います

日時 平成21年3月28日(土) 14:00~17:00

場所 国分寺労政会館・和室

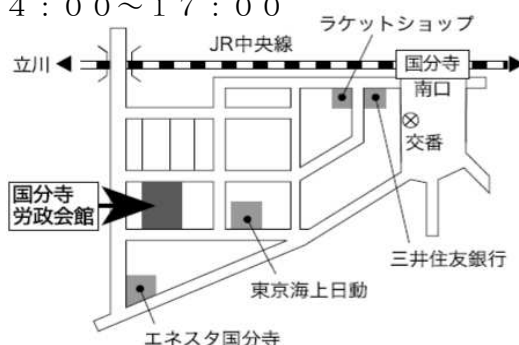
議題 新年度計画 総会について 他

### 新年度役員候補募集中

「けやき」の運営に力を貸して下さい。

連絡をお待ちしております。

連絡先 三輪



### 4月総会のお知らせ

日時 平成21年4月25日(土)

受付開始(入会・継続手続き) 12:45より

総会議事および交流会 13:30~16:45

場所 東京都多摩障害者スポーツセンター 第1集会室

※詳しいご案内と継続手続き用紙については、4月上旬にお届けします。

※4月25日の午前中の活動として

就労部会 10:30~

教育部会 11:00~

同会場にて話し合いを行います。

新規に入部希望の方も、ぜひご参加ください。



### ■書籍紹介■

増補版・発達障害児のための「支援制度ガイドブック」

日本発達障害ネットワーク発行

好評 発売中!

会員価格 350円

一般価格 500円

### 編集後記

毎朝5時に起き、6時に家を出て7時半頃には仕事先に着いているというわが息子。現在の職場に勤め始めてから、この春で2年が過ぎました。健康だけは誰にも負けない丈夫なからだで日々の仕事に励んでいます。こんなに朝の早い出勤の理由は、実は彼自身のある特別な事情のためなのです。会社の方々には、せつせと早朝出勤して来る真面目な好青年と思われているのでしょうか。最近はやや遅めの反抗期を迎えていまして、父親である私へ何かと反発するようなことも多いのですが……

何はともあれ、健康で仕事に励めるということの有り難味を感じつつ、一日一日を大切に過ごすことの意味を、私自身も噛み締めている今日この頃です。 三輪高二